

認知症の 早期発見・早期対応 が大切です!

このような症状で
お困りではありませんか?
まずはお電話ください!

もの忘れが
ひどくなった

通帳や印鑑を
しまった場所が
わからなくなってきた

物事の段取りが
うまくできなく
なってきた

ちょっとしたことで
怒りっぽくなった

「お金を盗られた」
と言って
何度も警察に
相談するようになった

医師を含む、医療職・介護職・福祉職の**認知症専門チーム**が
あなたとご家族をサポートします!

若年性認知症の方への支援も一緒に考えます。

相談無料
秘密厳守

西区オレンジチーム

☎ **06-6539-8248**

月～金(土・日・祝・年末年始を除く) 午前9時～午後5時30分



社会福祉
法 人

西区社会福祉協議会 / 西区地域包括支援センター内

大阪市西区新町4-5-14 西区役所合同庁舎6階(西区在宅サービスセンター)

認知症は単なるもの忘れとは違います。認知症にも早期治療で症状を和らげることができるものがあります。きちんと診断して、適切な対応をすることが非常に大切です。

「あれ、おかしいな？」と思ったら、ご本人やご家族でチェックしてみて、認知症の早期発見のきっかけとしてご活用ください。



家族がつくった「認知症」早期発見の目安

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、専門家に相談してみることがよいでしょう。

もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話のつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある



人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をするのも億劫がり、いやがる